

宿泊山行

たてやま だいにちだけ じゅうそう

立山～大日岳 縦走

地形図 1/2.5 万地図 立山

標 高 立山（大汝山）3015m、奥大日岳 2611m、大日岳 2501m

期 日 令和 7 年 8 月 23 日（土）～8 月 25 日（月）

所在地 立山町

参加者 6 名（男性 4 名・女性 2 名）

<1 日目> 7 年 8 月 23 日（土） 晴れのち曇り

立山駅→室堂→一の越→雄山→大汝山→富士の折立→真砂岳→別山→剣御前小舎→
剣御前山→剣御前小舎

7:00 立山駅、集合。今日は立山マラニックの日でボランティアや応援の人々で賑わっている。

7:40 立山ケーブルカー乗車。

8:40 室堂着。

8:55 室堂出発。各自トイレ、身支度、ストレッチをして GCL を先頭に出発。

9:25 小休憩。水分補給。

9:50 一ノ越到着。雲が湧き上がる中にも槍ヶ岳がくっきり見えた。

10:00 一ノ越出発。ヘルメットを装着。

10:36 三ノ越到着。小休憩。水分補給。振り返れば浄土山や龍王岳、五色ヶ原山荘も見える。

11:00 雄山到着。ガスが上がってきて景色は見えなくなってきた。一ノ越を出て暫くして追い抜かれたマラニックのトップの選手がゴールしている。海拔 0m から 3003m まで約 65 km を 8 時間余りで駆け上るとは、凄い！

11:10 雄山出発。果物、水分など補給して出発。

11:33 雷鳥に出会う。



一の越を目指して室堂を出発

- 11:37 大汝山到着。昼食。相変わらずガスガス。雨が降ってきそうな気配もするので早々に出発準備。
- 12:00 大汝山、出発。
- 12:11 再び、雷鳥に出会う。至近距離で砂遊びをしたり、人間を恐れる様子はない。
- 12:33 富士ノ折立通過。別山へと続く長い尾根道が見える。
- 13:10 真砂岳、到着。
- 14:05 分岐より劔御前小舎へ向かう。
- 14:30 劔御前小舎、到着。希望者は劔御前山へ登ることになる。男性4人はガスガスの中山頂を目指して、出発。
- 15:13 劔御前山登頂。ガスは晴れることはなく、最高の劔岳は見えなかったそうですが、途中には奇岩があったり、山頂は草原になっていたり。変化があつて、面白い山だったそうです。
- 15:40 劔御前山より下山後、ミーティング。
- 17:00 夕食
- 20:00 消灯



長い真砂岳尾根を歩く

(No. 803 I・M)

<2日目> 7年8月24日(日) 晴れ

劔御前小舎～新室堂乗越～奥大日岳～大日岳～大日小屋

- 4:30 劔御前小舎。起床、洗面。
- 4:45 ご来光(日の出)見学のため、小舎前広場に出て見るも残念ながら、ガスがかかり周りの山々は真っ白状態。やむなく断念する。
- 5:30 朝食。今日一日の活力です。腹一杯美味しく食べました。
- 6:20 劔御前小舎、出発。出発前、多少ガスが晴れ、劔岳が姿を現したので早月尾根ラインと劔岳をバックに集合写真を撮りました。
- 7:05 5分間立ち休憩。出発してから約30分、暑くなってきたので各自上着を脱いで体温調節と水分補給をする。
- 7:25 新室堂乗越分岐、通過。
- 7:30 3分間休憩。各自、後方の劔岳、劔御前などの写真を撮りながら水分補給。
- 7:50 新室堂乗越に到着。5分間休憩。集合写真を撮りました。

- 8:15 3 分間休憩。水分補給。
- 9:10 3 分間休憩。水分補給。遅れる人もいたのでこまめに水分を補給し小休止をとりました。
- 9:25 奥大日岳、到着。2 日目一番の目的地、奥大日岳では多めの 15 分位滞在しました。到着時、山頂には登山者がいっぱいに広がり、くつろいでいました。ここでは、私達も多めに時間を取り、個人写真や集合写真を撮りました。
- 10:40 3 分間休憩、水分補給。奥大日岳、過ぎてからのアップダウンに岩場や梯子の下りが結構大変でした。
- 11:25 七福園に到着。5 分間休憩。七福園の奇岩には驚きました。水分補給し、ここでも記念の集合写真を撮りました。
- 11:40 中大日岳通過。中大日岳は一部の人が個人写真を撮っていましたが、そのまま通過しました。
- 11:50 大日小屋、到着。小屋のベンチで 35 分位休憩し、昼食とトイレを済ませました。小屋にザックをデポして大日岳を目指しました。
- 12:35 大日小屋、出発。
- 12:55 大日岳、到着。2 日目の 2 番目の目的地、大日岳。(山頂では集合写真や個人写真など撮り、10 分位滞在しました。あいにくと山頂はガスにおおわれ真っ白で景観は良くありませんでしたが途中、雷鳥の親子の砂浴びを見れたのが幸いでした。
- 13:25 大日小屋、到着。夕食時間まで各自、自由時間としましたが、食堂でビールや酎ハイなど飲んで懇親会が始まりました。(笑)
- 17:00 夕食(30 分間)。
- 19:00 夕食後、ランプを灯した雰囲気の良い食堂でオーナーとスタッフによる「ギターの弾き語り演奏」を観賞しました。僅か 20 分位の演奏でしたが良き思い出になりました。
- 20:00 消灯。明日の無事な最後の下山を願って就寝につきました。



前方右手、大日岳を見ながら

<3日目> 7年8月25日(月) 晴れ

大日小屋→大日平山荘→大日岳登山口

4:30 起床、朝霧のなかに劔岳のシルエットが浮かぶ。徐々に空が朝焼けに染まり劔岳が浮かび上がる。素晴らしい景色を堪能した。

5:30 朝食

6:10 大日小屋出発

8:25 大日平山荘到着。

8:40 出発。対岸の弥陀ヶ原の景色を眺めながら大日平の木道を進み、牛首の岩場は、慎重に進む。

10:00 猿ガ馬場到着。



10:53 大日岳登山口到着。レストハウス称名で休憩、昼食後 13:10 発の立山駅行きバスに乗り、立山駅で解散。

ラムサール条約登録の大日平

会の山行としては最少人数の山行となりましたが、2泊3日和気あいあい、GCLのリードで立山三山～大日岳登山口までぐるりと縦走を楽しめました。

お世話ありがとうございました。

(No. 803 I・M)